

東松山市幼児教育研修会 アンケート結果【当日参加者】

日にち 令和 7 年 8 月 1 日（金）
 会 場 東松山市総合会館多目的ホール
 参加者 83 人
 アンケート回収 76 枚
 アンケート回収率 91.6%

1. 所属

	幼稚園	保育園	小学校	懇談会参加者	その他	未記入	計
人	53	14	6	1	2	0	76
%	69.8	18.4	7.9	1.3	2.6	0.0	100.0

2. 年代

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	その他	未記入	計
人	0	30	14	19	8	5	0	0	76
%	0	39.5	18.4	25.0	10.5	6.6	0.0	0.0	100.0

3. 参加してみたの感想

	大変良かった	まあまあ良かった	ふつう	やや物足りない	物足りない	未記入	計
人	56	10	4	0	0	6	76
%	73.7	13.2	5.2	0.0	0.0	7.9	100.0

4. 良かった点、物足りない点、印象に残ったことなど、ご意見をお聞かせください。

【幼稚園】

- 1 大縄の事例は何度か見たことがありましたが、今回は先生の声掛けにグッときました。
 “悔し涙”を教えることをとても素敵だと思い、自分の保育でも様々な子どもの気持ちを言語化し、伝えていきたいと思いました。そして、子どもたちの小さな気づきを大切に、探求心を上げられるような環境を用意していかないといけないと強く感じました。
- 2 縄跳びの事例から、子どもたちの経験したことをその後どのように展開していくのか、何を育てていくのかを考えて保育を行うことで、子どもの主体的な学びにつながることを改めて考えることができました。また、この関わりを幼児教育までで止めてしまうの

ではなく、小学校では更にレベルアップして話し合いの時間を設けながら、目標に向かって試行錯誤しながら学びへの興味を高める教育があると、子どもたちは小学校へもスムーズに上がることができるのではないかと感じました。本日はありがとうございました。

- 3 カリキュラムをこなすのではなく、子どもの姿を見ながら、どんな経験を深めたら良いのか、子どもの思いをくみ取っていったら良いのかを考える保育が大切ということを改めて感じました。過程も大事で、結果に促されないように何を育みたいのかを見つめ直していきたいと思いました。子どもの発想力の柔軟さを保育者の言葉かけで伸ばしていきたいよう、子どもたちと関わっていきたいです。
- 4 子どもたちが興味・関心をもって遊び始めたことを保育者がくみ取り、保育に入れていくのかを考え、子どもが考えられる環境を用意していきたいと思いました。また、子どもたちの姿の中で、どんな経験が少ないのかを見て、保育を進めていきたいと思いました。保育者同士でも子どもの良いところや面白いところを共有して、共通理解と協力体制を築いていきたいと思います。
- 5 お話だけではなく、ビデオを使いながら具体的な事例を基に説明してくださり、子どもたちの何を大切にしていたら良いか、どんなことを育てていけば良いかなどを知ることができ、2学期からの保育に活かしていこうと思いました。
- 6 改めて子どもたちを育てる保育者としての存在について学ぶことができました。お話の中にあった“子どもは楽しみながら世界を変える”を軸に、私たち保育者も本気で向き合っていくのが大切だと感じました。
- 7 主体的な保育を実践していくためには、教師自身も子どもたちの姿をよく読み取り、豊かな経験ができるように試行錯誤していくことが大切と改めて感じました。粘土の事例のように、ただ遊ばせるのではなく、目的を持って体験ができるように保育していくことも重要と感じました。子どもたちと関わる上で、保育があまり楽しんでできていなかったように思ったので、これからは子どもたちと向き合って、楽しんで保育ができると良いと思いました。
- 8 いくつかの事例を見て、本当に子どもたち主体で保育が進められていっていることを再確認しました。その上で保育を子どもも大人も楽しんでいることが、とても良かったと感じました。私自身の保育にも取り入れていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 9 縄跳びのビデオを見せていただいた中で、保育者の声掛けにとっても勉強になりました。子どもの悔しい気持ちが、少しずつ新しいやり方を考え、友達と協力して目標を立て、向かって頑張る、あきらめない気持ちに変化したこと、一連の流れを保育者が理解して、活かしていくことが大切だと思いました。
- 10 実際の保育現場の映像を観ながら、子どもの気持ちや考えを一緒に考え、何が大切なのか改めて自分の保育を振り返る良い時間となりました。子どもたちの“あきらめない力”や、“友達と力を合わせたり、一緒に乗り越えていったりする力”を今後も育てていけるよう、様々な経験ができるよう意識して保育をしていきたいと思います。
- 11 1つの遊びや活動の中で、子どもたちの気づき、子ども同士の会話に耳を傾け、これは

- こうと決めつけず、子どもたち自身が遊び方、楽しみ方を見つけていけるようにしていきたいと思いました。集団に入れない子、なかなか自分を出せない子も、必ず興味のあること、好きなこと、得意なことがあると思うので、その良さをしっかり認めてあげながら一人ひとりの良さを最大限に活かし、伸ばしてあげられるようにしていきたいです。
- 12 佐藤先生の研修は、いつも資料が分かりやすく、映像も多く使われていて、理解を更に深めることができました。自分もやってみたいという前向きな思いにつながりました。今回頂いた資料を繰り返し読み返して、自分なりの学びにつなげていきたいと思います。ありがとうございました。
 - 13 子どもたちの興味・関心を伸ばしていくために、日々保育に取り組む中で、子どもの姿に着目していきたいと思いました。ありがとうございました。
 - 14 今回、お話にあったことを保育で実践していきたいと思います。
 - 15 日々の保育を振り返り、保育者間での共有が子どもたち一人ひとりの成長にもつながっていくことなど、改めて大切なのだなと感じました。個別最適な学び、全体の中でも個を大切にしていくことで、認められ自信につながっていく…日々の保育でも大切にしていこうと思います。
 - 16 忙しいカリキュラムに追われる保育の中で、結果を見つめがちになってしまっていたなど、本日受講させていただいたことで感じました。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に対する捉え方について、自分の中で今一度見直していきたいと思いました。子どもの思いを受け止め、保育の中で活かしていきながら、その中で子どもがどのように感じ、考え、成長していくのかという視点を大切にしていきたいと思います。本日はありがとうございました。
 - 17 北極ごっこについて、子どもたちが積極的に取り組み、進んで知りたい気持ちを出し、お友だちと探求している姿が印象に残りました。子どもたちがこのような姿になるには、保育者が環境を整えていくことが重要であることを改めて感じました。
 - 18 実際の子どもの姿を何種類かのビデオで紹介してくださったことで、子どもたちの主体的な行動というのはどういったものかを知ることができました。保育者が「こうやるんだよ」と教えなくても子どもたち自身が考え、行動していく力が子どもたちには備わっているのだと感じました（縄跳びのビデオ）。子どもたちが何を考えているのかを、少し待つみることも必要ではないかと感じました。
 - 19 教師主体ではなく、子どもの立場から教育内容を立案することが必要なのだと学ぶことができました。
 - 20 様々な年齢の実際の教育現場での姿が見られ、架け橋カリキュラムを具体的に考える学びとなりました。子どもたちの「やってみたい」の気持ちを大切に、そのことがどう発展していくかは、関わる大人次第。今後も子どもの主体性を大切に、対話も深めることで、保育者（自分）自身も学びを深めていきたいと思います。
 - 21 就学前教育の一体化、小学校教育との連続性の大切さを改めて感じ、育みたい資質、能力を考えることができました。そして、どう自分の園に取り入れたら良いのかも考えながらお話を聞いていました。実際の子どもの動画なども観ながら分かりやすく解説していただけたのも理解しやすく、気づけた所がたくさんありました。「主体的・対話的

で深い学び」になるために、2学期からのカリキュラムを考えたり、どう時間を作っていかなければならないかと課題が見えてきました。大きな学びの時間となりました。ありがとうございました。

- 22 “子どもの興味・関心を持つ心が主体性を生む”ということ、事例を通して深く学ぶことができました。特に、縄跳びでは、新記録を超されて悔し涙を流していた子ども、回数で戦うのではなく2人で新記録を目指すという、子どもたちにも価値観があり、心で感じていたことを表現していて素敵だと思いました。子どもと近くで関わる立場として、主体性を育むための手助けの仕方、声掛け方法が求められているのだと思いました。
- 23 以前の研修でも佐藤先生のお話を聞いていたこともあり、子どもたちの主体的・対話的な姿を動画で改めて観ることで、様々な学びがありました。現在は年長児のクラスを担当しているので、幼・保・小の架け橋カリキュラムのお話では、とても参考になることばかりでした。本日はありがとうございました。
- 24 今回の研修を受けて印象に残ったことは、虫を探したり、虫で何か企画を作っていた園の動画です。一人の男の子の、虫さんがロープウェイを下る時の顔が見たいという発言に、とても素敵だなと感じました。虫の表情を見たいというのは、あまり思い付かないような子どもならではの発想力だと思いました。
- 25 目の前にいる子どもたちと一緒に創り出していくことがとても大事であり、場面が変わっても子どもは素直に思いを出してくれるので、これからも子どもと一緒に保育をしていきたいです。
- 26 改めて、保育者が子どもたちとどのように関わるべきか、ということが分かりました。動画なども交えて、具体的で分かりやすかったです。今後の自分の保育の参考にしたいです。
- 27 スライドだけではなく、事例を基にした動画もあったので、より分かりやすかったです。子どもが仲直りする際の、仲直りのイスがとても印象に残りました。
- 28 子どもの興味や好奇心をつなげて、遊びの中で経験を積む姿を実際に動画で観ることができて良かったです。何よりも子ども・保育者が楽しんでいて、自分もこのような保育をしたいと感じました。
- 29 普段の保育を振り返る良いお話でした。自園での子どもたちの育ちが、どこまで育っているのか疑問を感じます。小学校での架け橋とはどうつながっているのか疑問でもあります。
- 30 実践のビデオをたくさん拝見させていただき、初めて見る映像ではないものもありましたが、改めて保育を行う中で、子どもたちの興味・関心を理解し、気づきややってみた事を共感したりしながら活動を展開・継続することの重要さを感じました。それを実現させるためには、日々の中で常に子どもの気づきの声などにアンテナを張りながら話し合ったり、みんなで一緒に考えることを積み重ねていくことをしないと、中々育っていないかと思うので、今後もそれを意識して関わっていきたいと思いました。
- 31 活動の結果で、どれだけのことをできるようになったか、何ができたかだけでなく、活動の過程での態度や生きる力の基礎というところから、日々の保育の中で、ねらいを持つことや、子どもの言動や姿をよく見つめ、捉えていきたいと思いました。また、小学

- 校でも同じように、点数などでの結果ではなく、学んでいく中の姿を見ていってもらえると良いと思いました。
- 32 子どもの原動力になるような声掛け、子どもの声を聞いていけるように関わりたいです。保育の活動には中々参加しない子もいるけれど、その子の可能性を引き出せるように子どもをよく見て認めていきたいです。ドキュメンテーションを行うことで、子どもに気づけなかった一面も見られるので、記録に残すことは改めて大切だと思いました。
 - 33 短い時間でしたが、動画を観ながら分かりやすく講義の内容と結び付けられ、お話が中に入っていくやすかったです。
 - 34 色々な事例動画を観させていただきながら、こういう保育をしたら面白いと思うことがたくさんありました。子どもたちの様子をよく見て、広げられる遊びを見つけ、一緒に楽しんでいこうと思います。ありがとうございました。
 - 35 子ども主体の保育、子どもも大人も楽しみながら、世界を支えていく、共創していく、認め合っていく、助け合っていく大切さを学びました。とても勉強・意識改革になりました。
 - 36 研修会に参加できてとても勉強になりました。資料のほかに動画なども交えながらの講義だったので、自分の保育と重ねながら反省と気づき、学びのある研修会でした。これからの保育に活かしていきたいと思います。
 - 37 幼児期に必要な大切な取組を、改めて見直して保育に関わる大切さを学びました。
 - 38 縄跳びのエピソードのビデオがとても印象に残りました。経験を通して子どもたちが自分で考え、行動する力はすごいなと思いました。子どもたちの声に耳を傾けて保育をしていきたいと思いました。
 - 39 映像があったので、子どもたちの表情や反応が感じられ、とても良かったです。日々の保育に活かせたらと思います。ありがとうございました。
 - 40 架け橋プログラムについて、具体例を基に学べて分かりやすかったです。「保育者も子どもと楽しむことが大切」ということが心に響きました。
 - 41 佐藤先生の講演はとても分かりやすく、現場に対応した内容で良かったです。1時間半ですと時間が足りないくらいでした。
 - 42 子どもの姿をよく観察して、一人ひとりの頑張っているところ、何気ないつぶやきなどを見つけることの大切さ。そこから更に伸ばしていけるような声掛け、環境づくりをしていこうと再確認できました。小学校に行くまでに身に付けられるように、自分の保育を考え直すこともできました。ありがとうございました。
 - 43 改めて、楽しんで一緒に保育に取り組むことの大切さに気づくことができ、とても良い研修会に参加することができました。
 - 44 映像の視聴もあり、実際の子どもの様子から分かりやすく学ぶことができました。子どもたちのやりたい気持ちを大切に、保育を進めていきたいと思います。
 - 45 幼稚園は幼稚園、小学校は小学校と別々に考えるのではなく、連続していく保育の重要性を改めて学ぶことができました。また、縄跳びの映像が印象的で、回数を競うことも大切だが、その経験を活かして次にどうつなげていくのか、その場面に出会ったときにどのように声を掛けたりしていけばよいのか考えさせられました。

- 46 幼児、小学校生活の一部が、動画を視聴しながらだったため、少し楽な気持ちで研修に臨むことができ良かったです。長縄跳びの場面では、縄を回すときのポールが気になり、一緒に参加した先生と、あれいいねと話したり、参考になりました。
- 47 文章だけの説明やお話だけでなく、実際の保育現場の動画をたくさん観せていただく内容だったので、想像もしやすかったし、自分の保育を振り返る中で共通点や参考にした場面などを見つけやすく、興味深く聞かせていただきました。
- 48 写真、動画で実際の様子を見ることで、内容がとても分かりやすかったです。小学校ではできない活動をやりつつも、就学後にもつなげていけるような保育を考えていきたいと思いました。
- 50 縄跳びで子どもたちと向き合ったり、科学遊びで子どもたちと学び合ったりする姿を見て、カリキュラムがある中でも一人ひとりの子どもたちの姿や気持ちに寄り添える保育をするには、どうしたらいいだろうかと考えさせられました。いつまでも子どもたちの意欲に寄り添った保育・教育を展開していきたいが、その中でも学んでほしいこと、身に付けてほしいこと、相手への思いを伝える方法など、保育者・教育者としてその活動にどのようにこれらの課題を散りばめられるかが大事だと思いました。
- 51 今年度、年長のクラスを担当しています。子どもたちは一人ひとり本当に個性があり、来年の4月に小学生になると思うと、色々できるようなになったらいいなということ、小学校でやっていけるのだろうかという心配等、子どもたちへの色々な思いが出てきます。研修会の中で聞いたお話や観た映像で、1学期の自分の反省がたくさんあったので、2学期から視点を変えてみたり、もっと子どもたちと向き合おうと思えてとても良かったです。
- 52 プロジェクターにしか出ないページがいくつかありましたが、ビビッドな背景に黒文字や赤文字で書かれていたため、読み取りにくいものがありました。動画もほぼ観たことがあるものですが、「やらされていること」では無意味で、「やってみたい」から入ることで力になったり身につくことが改めて分かり、子どもがしていることに対して、それを通して何を感じているのか（面白さや楽しさ）に気づける力が保育者に必要であるしとても大切だと思いました。
- 53 子どもの可能性は無限大！それをどう広げていけるのか、活かせるのか、園に戻って職員同士で話し合いたいと思います。

【保育園】

- 1 様々な園の実践、取組を知ることができたのが、とても興味深く面白かったです。
- 2 動画を用いた事例が観られたことで、理解が深まった。保育士・先生の仕掛けによって、子どもたちの興味が持続し、展開していくことがよく分かり、今後の保育に取り入れていきたいと思った。
- 3 子ども、保育者、保護者など皆で「子どもの疑問」を解決していくという保育内容について知ることができて、とても良かったです。普段の保育の中ではカリキュラムをこなすということが多い中で、本当に子どもが主体となって保育ができているのがとても理想的だったので、少しでも今後の保育に活かしていけるようにしたいと思います。

- 4 “未来”という言葉が出てきて、改めて大切な時期の子どもたちを見させていただいているのだなと感じました。子どもたちと楽しむこと、そして子どもたちと作り出すことを忘れずに、今後の保育に活かしていきたいと思いました。
- 5 子どもたちの言動・行動は、何気ないものでも子どもたちの成長を促すヒントになるということを学びました。一緒に考え、大人も一緒に全力で楽しんだりすることで、子どもたちも色々な面を見せてくれるということを学んだので、今後の保育に活かしていきたいです。
- 6 動画などがあって分かりやすかったです。投影されたパワーポイントのみの資料があり、進みがやや早かったので、全ての資料を配付していただけるとありがたいと思いました。子どもたちの発見・興味関心を、我々大人がどう広げていくのが大切か、改めて考える機会になり良かったです。
- 7 子どもたちからの視点・発想を丁寧に読み取り、クラス全体に広げられるように頑張りたいと思いました。
- 8 自分が年長担任をしている上で、子どもたちを就学に向けて保育していく中で、小学生になるまでにどうやって成長を促していけば良いのか、今回の研修を受けた中で知ることができました。カリキュラムどおりに進めたり、ただ遊ばせたりするのではなく、子ども一人ひとりの成長に合わせて活動を考えることが大切だということ、そして子どもたち同士で意見を出し合って、活動や遊びを広げていくことで成長していくことが、学びになりました。
- 9 日々の保育の中で、“ただ遊ばせれば良い”ではなく、遊びに子どもが主体的になり、自分で考えて工夫して遊んでいくことや、友達とアイデアを出し合って発想を広げていくことが大切だと考えさせられました。長縄跳びのエピソードや虫を取り入れての活動など、自分では考えられない楽しい活動を知ることができたので、これからの保育に取り入れていきたいと思いました。
- 10 楽しみながら保育をするということを学び、普段の生活の中でも楽しんでいるつもりですが、もっと深めていきたいと思いました。保育園でのこの経験が、今日の研修の中でどのように小学校への架け橋になっていくのが、今一つ理解が難しかったです。
- 11 “子どもは楽しみながら世界を変えていく”素敵なお話をありがとうございました。日々大変な中（保護者からのプレッシャー、発達のデコボコ等）、保育士も楽しみながら日々子どもと過ごすという原点に戻り、明日からの保育に当たりたいと思いました。
- 12 今の時代の保育で大切にすること、小学校でそれを引き継いでいることを再確認することができたことが良かったです。
- 13 子どもの興味・関心に目を向け、資質能力を育てていきたいと思えます。とても勉強になりました。
- 14 動画を観て色々と考えさせられる場面があり、子どもって本当に素晴らしいなと感じました。この貴重な幼児期に関われる職業に誇りを持ちたいと思うと同時に、子どもとの関わり方、保育の進め方、保育者間で話し合う場をもっと改善していきたいと思いました。本日はありがとうございました。

【小学校】

- 1 児童の思いを大切にすることや、一緒に楽しみながら取り組むこと、そして児童同士の話し合いを大切にすることなど、たくさんの学びがありました。実践の動画も盛り込みながらの講話で、内容をより理解することができました。ありがとうございました。
- 2 子どもたちの遊びの中の言葉というものに、ちゃんと耳を傾けたことはありませんでしたが、遊びの中からこうした方が良く、こうしたという“想い”を目いっぱい話しているのだなと思いました。今しかできない経験というものがあると思いますが、その中からちゃんと一人ひとりのペースで学んでいるのだなと、それを教師がちゃんと拾って学びにつながる、ほめることにつながるようにしていきたいと思いました。ちゃんと聞いてあげたい、色々な経験をさせてあげたいです。本日の研修はすごく勉強になりました。もっと幼児期から小学校にその学びがどのようにつながるか学んでいきたいです。ありがとうございました。
- 3 保育園や幼稚園での実践を知ることができ、勉強になりました。子どもたちの興味・関心からスタートし、それを興味等でどんどん広げていくというのが非常に面白いと思いますが、教育者も上手く子どもたちの興味を広げられるような手技を持っていないといけないということも痛感しました。また、子どもが楽しんでいることを自分も楽しむということが、とても大切だということも感じました。
- 4 カリキュラム重視ではなく、個々の子どもの良さを尊重したプログラムがとても勉強になりました。
- 5 子どもたちの興味・関心を途切れさせないことが大事だと考えさせられました。幼・保でのびのび学習していることを、小学校で机に座りノートを書く学習に変えないように努力していきたい。
- 6 実践例、子どもの姿がよく見えて、“対話”が分かりました。ポッシブルセルフが対話の中の一つの視点にあり、架け橋のプログラムからカリキュラムを編成していくのに明確な視点を一つもらえた気がします。学校現場でも、実践・具現化したいと思います。

【懇談会メンバー】

- 1 たくさんの写真、動画があり、現場を実感して理解しやすい内容でした。講演会だけでなく、ワークショップ（参加者同士が語り合う時間）を設定すると、より学びが深まると思います。

【その他】

- 1 個の事例から集団みんなが巻き込まれていく中で、互いに育っていく場面や、遊びの中でも色々な部分の経験値が上がっていく、非認知能力がどう育っていくのか等、ヒントや考える時間もできて良かったです。《どこにいても同じ教育》とは簡単なようですごく難しいと感じています。
- 2 特に、結果ではなくその過程の様子、過程においてどのようなことを考えているのか、などを見ていくことが大切だということ、改めて理解することができました。子どもそれぞれによって保育・教育の形は変容していく、一通りではないところがやはり面白いと感じました。

5. 今後、研修会で希望するテーマや講師等ございましたら、ご記入ください。

【幼稚園】

- 1 実践できるもの（遊び、絵本など）
- 2 発達が遅れている子の保護者に理解してもらうための伝え方や、関わり方。
- 3 子どもが“やりたい”と思える保育、自然を活かした保育。
- 4 発達が気になる子への関わり方。
- 5 入園前の家庭環境の違いをどう受け止めて保育を進めていけば良いか。各園の実践事例報告をしながら、自園の教育内容や環境を見つめ直す。
- 6 障害を持つ子、気になる子への対応をぜひお願いします。
- 7 小学校では、先生方が1年生に感じる関わりの難しさ、どのような課題を感じているかを具体的に知る機会があっても良いと思います。
- 8 発達についての研修テーマも聞いてみたいです。
- 9 絵本の研修。
- 10 発達の支援についての研修会があると嬉しいです。
- 11 絵本、歌、ダンスなどの新しいものが知りたい、触れたいです。
- 12 発達に遅れがある子への対応、小学校入学までにどのようにその子らしさを伸ばしてあげられるか、専門の先生にお聞きしたいです。

【小学校】

- 1 隣に座った保育園の先生から面白い実践を聞くことができたので、小グループで様々な保育園・幼稚園・小学校の先生同士でフリーに話す機会があると面白いと思いました。また、幼・保で行われている教育実践を子どもの立場で受けてみたいと思いました。ありがとうございました。
- 2 就学前から小学校入学期にかけて児童（子ども）の社会性の発達心理、小1プロブレム、すぐにカッとなる、手が出る、感情のコントロールが苦手な児童（子ども）への対応。
- 3 幼・保・小の連携の研修、実際に見合う場面をもっと増やしてほしいです。（せめて学期毎に開催など）

【懇談会メンバー】

- 1 参加者の園のカリキュラム（記録）を持ち寄り、育みたい資質・能力に向けて話し合い、見直す研修会を期待します。

東松山市幼児教育研修会 アンケート結果【YouTube 視聴者】

配信期間 令和7年8月22日（金）午後3時頃から
令和7年9月16日（火）午前0時頃まで
視聴回数 103回
アンケート回収 12枚
アンケート回収率 11.7%

1. 所属

	幼稚園	保育園	小学校	懇談会参加者	その他	未記入	計
人	0	7	5	0	0	0	12
%	0.0	58.3	41.7	0.0	0.0	0.0	100.0

2. 年代

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	その他	未記入	計
人	0	2	2	2	3	3	0	0	12
%	0.0	16.7	16.7	16.7	25.0	25.0	0.0	0.0	100.0

※端数処理の関係から、パーセンテージの合計は一致していません。

3. 参加してみたの感想

	大変良かった	まあまあ良かった	ふつう	やや物足りない	物足りない	未記入	計
人	5	5	0	1	0	1	12
%	41.7	41.7	0.0	8.3	0.0	8.3	100.0

4. 良かった点、物足りない点、印象に残ったことなど、ご意見をお聞かせください。

【保育園】

- 実践動画で子どもたちの思いを形にしていく様子がわかりやすく良かったです。子どもたちの好みやつぶやきに気づき、きっかけ作りを行うことも保育者の大切な仕事だと感じました。子どもたちが自分の力で考えて作り上げていく中で空想を広げ、子どもたち同士が意見を出し合える環境を作り、活動が広がりをみせていける保育を行っていきたいと思います。
- 研修の映像を拝見させていただき、自由保育を推進している園の子どもたちは「非認知

能力」の育成を日々の中で学び、意欲・協調性・忍耐力を育んでいると思いました。でも一方、小学校への接続面では、グループ活動の発表へ向けての授業には力を発揮できると思いますが、一般的な授業への取り組みが苦手な子は、自主性・好きなことへの取り組みのみで、集団行動の輪に入れず授業についていけないのでは、と思いました。集団生活で学んでいる中の基本的なルール・社会のルールはきちんと学び、調和的な考え方が必要だと感じました。

- 3 大人（保育士）が良かれと思ってやったことが、子どもにとってどうなのか。動画で乳児が9～11ヶ月頃まで同じ遊びを楽しんでいた場面で、缶のフタの音や回る動きを楽しんでいた場面が印象に残りました。危ないと先読みして、安全な別の遊びに誘導してしまうことが多いので、子どもの発想や考える機会を奪わないように改善していきたいです。
- 4 実際の子どもたちの映像を使っただけのお話は、特に分かりやすかったため良かったです。子どもたちの成長の様子によって、すべてをすぐに自園に取り入れられるわけではありませんが、自分でやりたいことをまず外に出せるように目標を立て、“やりたいことを伝えること”“それを実現するために考えること”ができるように導いていきたいと思いました。
- 5 事例の中で、子どもが縄跳びを1000回以上跳べていたけれど、すぐに記録更新されてしまい、その後の子どもの様子を見る動画が印象に残りました。保育士が声をかけずとも子どもが考え、子どもたちなりに行動し解決していく姿に、「子どもが考え、自ら行動していく自主性」を感じました。また、職員同士で情報を共有し、「園全体で子どもの成長を促していく」大切さを改めて学びました。
- 6 毎日の保育をもう一度振り返る機会を頂けた研修だったと思います。保育士が見取り、ただ遊ばせたり、活動するだけではなく、どんな経験や体験をさせるか、何を育てていくかを考えて保育していく。子どもたちにただやらせるだけではなく、何を育てたいか、何が育っているかなど、常に考えて保育していくことの大切さを改めて感じる事ができました。
- 7 非認知能力をこんなに丁寧に分かりやすく教えていただいたのは初めてです。0歳児、5歳児の、遊ぶ姿や友だちとの行動から見られる姿が非認知能力なのだと分かることができました。幼児期のたくさんの経験が、小学校に入学してからの試行や工夫につながり、学び合う力になるのだと思いました。保育者は環境を整えて全園児を協力し合って保育していけると良いと思いました。ありがとうございました。

【小学校】

- 1 小学校は、入学前の子どもたちが保育園等で多様な経験や学びをしてきていることを、もっと深く理解すべきだと思いました。実践事例の「科学遊びを楽しもう」では、園児が氷の世界を楽しみ、探求を広げ深めていく様子を興味深く見させていただきました。また、ICTを活用して子どもの活動を継続的に記録できるドキュメンテーションの手法は、小学校でも活用できると思いました。
- 2 子どもたちが主体的に学ぶことが大事だということを感じました。学校は学校という形

ではなく、幼・保からの連続性が大事で、幼・保から子どもたちのどうやろう、どうしようなどの部分を丁寧に読みとることが大切だと、改めて思いました。職員で子どもたちを色々な面から丁寧に見ていきたいと思いました。

- 3 幼児教育での「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びへ向かう力・人間性等」の捉え方が分かって良かったです。
- 4 非認知能力の重要性、大切さを改めて再確認することができました。非認知能力を伸ばしていく（高めていく）ことで、自己肯定感も連動して高めることができると考えています。小学校でもきちんと伸ばしていけるよう、指導やできたことへの褒め、励ましを心掛けていきたいです。
- 5 幼稚園・保育園でどのような実践をしているのか、知らないこともありました。小学校の授業につながるような、「科学遊び」の実践を見られて非常に良かった。遊びを通じて、様々な経験をさせることが大切だと思いました。

5. 今後、研修会で希望するテーマや講師等ございましたら、ご記入ください。

【保育園】

- 1 保育現場における防災のあり方の研修がありましたら、参加したいと思えます。
- 2 主体性のボーダーラインがもう少し解る研修をぜひお願いしたいと思えます。
- 3 各園の保育内容や行事への取り組み方、子どもたちがそれぞれの行事にどのように関わっているか？グループ毎に話し合いたいです。また、発達が気になる子への関わり方、保護者への関わり方について各園で話し合いたいです。小児科の医師にもお話を聞いてみたいです。
- 4 「子どもの自主性を尊重する保育」を深掘りした研修。小学校への就学に向けて支援すること。
- 5 発達理解、発達障害への対応。感染症対策の最新情報。食育とアレルギー理解。
- 6 名前のない障がいや困っている子どもたちに対して、どのように手を差し伸べて、クラスの友だちと一緒に活動に参加できるようになるのか教えていただきたいです。

【小学校】

- 1 今回、多様な実践事例を紹介していただいたので、今後も希望します。
- 2 幼・保・小の接続の問題点。

令和7年度 第2回幼保小三者連絡会実施報告

- 1 テーマ 「幼児教育と小学校教育の違いを理解し合い、
スムーズな就学が図れるために」

- 2 開催日、会場及び実施内容

開催日	会場園	実施内容
2月10日(火)	松山南幼稚園	○受付 9:45～10:00 ○公開保育 10:00～11:00 ○研究協議 15:00～16:30
2月13日(金)	高坂ひまわり保育園	○受付 9:45～10:00 ○公開保育 10:00～11:00 ○研究協議 13:30～15:00

- 3 参加人数（公開保育参加人数）

	懇談会 参加者	幼稚園	保育園	小学校	その他	計
松山南幼稚園	5	8	11	8	0	32
高坂ひまわり保育園	4	6	20	3	1	34
計	9	14	31	11	1	66

- 4 研究協議記録及びアンケート

別紙のとおり

令和7年度幼保小三者連絡会 研究協議記録

開催日 令和8年2月10日(火)

会場 松山南幼稚園

研究協議において各班から出た主な意見・感想

1班(座長:峯氏)

- 1 今回の公開保育でドッジボールを行った理由。日頃のこどもの姿、3学期になりどう変わったか(幼稚園)
→10月の運動会は休みが多く消化不良だった。ドッジボールが人気のため、今回の開催に至った。1学期は自分のことでいっぱいだったが、3学期はチームワークが芽生え取り組めた。(幼稚園)
- 2 大勢に囲まれても集中して取り組んでいた。負けても泣いているこどもがいないことに驚いた。気持ちの切り替えができていると感心した。こどもが朝礼台に登って体操しているのが良かった。(幼稚園)
→運動会・お遊戯会では、朝礼台に登るこどもを先生が指名していたが、その後、朝礼台に登る人のまねをすくこどもがいたので、今回、先生が希望者を募り、先生が指名した。(幼稚園)
こどもの自発性・自主性を育てるのは幼児教育の命題である。こども同士で相談し、決定していくことは、仲間意識が育つことに繋がる。(幼稚園)
- 3 朝の会で先生の話聞く姿勢が良かった。ドッジボールにて、ボールの取り合いのトラブルがなく驚いた。(保育園)
→今回は緊張していた。また日々人の話を聞くよう促していた。ボールの取り合いについて、途中段階ではあったが、クラス対抗を意識していく中で、ボールの取り合いが時間の無駄と気づき、先生に言われずともなくなった。(幼稚園)
勝利を目指す途中でボールの取り合いが無駄だと頭の中でイメージできるようになったのでは。結果ボールの取り合いの争いがなくなった。最初は必ず争いはある。
こども同士が意見を出し合うことで、争いを避けることができる。(幼稚園)
- 4 ボールが嫌いな子はいないのか。小学校の低学年よりも高いレベルだった。小学校では個人の得意・不得意で分けたりする(小学校)
→普段の自由遊びで外遊びをしない子は一定数いる。今回のドッジボールが別だった。(幼稚園)
保育園や幼稚園に自由遊びがある理由は、こどもの主体性、自発性を育てるためであり、これは幼児教育の柱である。ただし一斉に行う場合はこどもの個性を把握する必要がある。自制心を育てるのは、幼児教育の命題である。自分の感情を殺すことは時には必要。将来のこと(非行に走らないよう)を考え幼児教育の中で自制心を育てる

ことは意味のあることである。(幼稚園)

- 5 小学校は1年生を赤ちゃん扱いしすぎなのでは。幼稚園では色々な経験を積んでいる。できることは多いのでは。松山幼稚園で鼓笛等を行っている。(小学校)
→幼児教育でどこまで育ったか こどもの育ちがどうだった把握するためにも幼保連携は大事である。また、こどもに気づきを持たせ経験を積み重ねることが大事である。(幼稚園)
- 6 落ち着いている印象を受けた。ボールが当たり泣くこどもがいないことに驚いた。またボールの取り合いがないことにも驚いた。小学校では掃除のやり方(雑巾絞り)を知らないこどもがいる。幼稚園では掃除のやり方を教えているのか。(小学校)
→そこにウェットを絞ると本来の幼児教育ができなくなる。家庭でやっていないこと等はできない。そこを理解し、教え、経験を積ませることは大事。先生が模範を示すことが大事。小学校には色々な幼稚園出身が集まるので、それを理解することが大事。(経験に違いがある)(幼稚園)
- 7 集団としての力が身についていると感じた。大人数でも揉めることなかった。集団の中でやるべきことが普段の保育の中で身についていると感じた。個性が突出するわけでもなく、集団に馴染んでいた。
昔と違い新聞を購読しない家庭も増え、大学生でも新聞を読んだことがいない学生いる。文化も変化に伴い、こどもに求める能力を伸ばすことも変化してくるのでは。(短期大学)
→経験を積ませることが、考える力をつけさせる。(幼稚園)

2班 (座長：小佐野氏)

- 1 ドッジボールでは、こどもたちが元気いっぱい熱中している様子が見られた。(幼稚園)
- 2 朝の会では、こどもたちの姿勢がよく、行儀よく参加していた。ドッジボールでは緊張感を持って取り組み、頑張っている様子が感じられてよかった。ありがとうございました。
(幼稚園)
- 3 朝の会から見学したが、こどもたちはとても元気でよい印象を受けた。また、ドッジボールでは友達をしっかり応援している姿が見られ、感心した。(保育園)
- 4 自分が勤務している保育園のこどもたちもドッジボールが大好きである。保育園ではこども同士でボールの取り合いになることがあるが、松山南幼稚園ではあまり揉めることなく、最後は話し合っ解決している様子が印象的だった。他のクラスに「がんばれ」と応援していた点もよかった。(保育園)
- 5 こどもたちは当初、ドッジボールにあまり関心を示さなかった。ルールのある遊びを経験させたかったため、まず画用紙を使ってルールを説明するところから始めた。次にボールを転がして行う遊びを取り入れ、徐々にドッジボールへと発展させていった。
当初は乗り気でなかった女兒も、次第に積極的に参加するようになった。同じチーム内でボールの取り合いが起きた際には、「取り合いをしている間に相手チームが逃げてしまうよね」と声をかけることで、徐々にプレーが改善された。やがてボールを譲り合う姿も見られるようになり、ボールが当たって泣く子も減っていった。また、ドッジボール以外の場面でも、他のクラスを応援する姿が見られるようになった。(幼稚園)
- 6 今年のこどもたちはサッカーに興味を示している。ルールを紙に書いて伝える方法は、自園では行っていない。はじめはボールを転がして当てるゲームから取り組んでいる。(幼稚園)
- 7 今年初めて1年生を担当している。幼稚園によって取組は異なるが、詰め込み教育には疑問を感じている。小学校入学後に伸び悩むこどもも見られる。一方で、話をよく聞き、友達とコミュニケーションを取れるこどもは伸びる印象がある。中には他人の話を聞かず、見当違いな行動をしてしまうこどももいる。
本日の集会やドッジボールでは、みんなで歌い、先生の話聞くことができている。待ち時間も歩き回ることなく落ち着いており、基本的な生活習慣が身に付いているという印象を受けた。(小学校)
- 8 人の話をよく聞けるこどもは伸びる傾向がある。困りごとがあっても、自分から言い出せず、声をかけられるのを待っているこどももいる。入学説明会では、困ったことは先生に伝えられるよう、保護者にもお願いしている。
ドッジボールでは、外野を決めるよう指示すると、こどもたちだけで話し合っ決めていた。楽しい活動の際に目を輝かせている姿が印象的であった。
なお、小学校ではボールの取り合いが起きることもあり、当たって泣いてしまうこどももいる。(小学校)

- 9 自園では、こどもが「投げたい」という気持ちを強く持ち、他のこどもと気持ちがぶつかることがある。カルタ遊びでも取り合いになることがあり、こども同士での話し合いはまだ十分にできていない。(保育園)
- 10 話し合いの様子は年長児と年中児で異なる。発達段階に応じた方法が大切であり、ドッジボールのような遊びを通してこどもに何を学ばせたいのかを明確にすることが重要である。遊びは自発的な活動へとつなげていくことが大切である。(幼稚園)
- 11 自分の気持ちを言葉で伝えることが重要である。小学校に入学すると人数も増え、環境が大きく変わる。例えば、体操着を忘れたこどもについて、「先生、〇〇さんが体操着を忘れたそうです」と友達を介して伝えてくる場面も見られる。(小学校)
- 12 こどもをクールダウンさせるための部屋が常設された。すぐに教室へ戻れない場合でも、そのような場所で落ち着くことができる。(小学校)
- 13 本校にも同様の部屋があり、特別支援学級の教員や養護教諭が対応している。(小学校)
- 14 就学に向けて、学校へ必要な情報を丁寧に伝えたいと考えている。通常の学級か特別支援学級かについても、早い段階から関係者で協議を行っている。(幼稚園)

3班 (座長：竹内氏)

- 1 先生の目を見て話を聞く、椅子をしまう、水筒のひもをクルクルして戻すなど、日々の積み重ねがあるからこそできることである。ドッジボールも誰ひとり嫌だと言わずに参加する姿から、やる気と団結力をみることができ、小学校に向けてしっかり準備が整っているようにみえた。(幼稚園)
- 2 ドッジボールでは、全体にボールがいきわたり、外野に出たボールをみんなで追いかける姿から、こどもたちの気持ちがドッジボールに向いていたように感じた。また、長い時間集中して遊びに参加できることに感心した。(保育園)
- 3 朝の会では、もじもじせず自分の気持ちを発言することができていたことから、日々の積み重ねを感じ取れた。(小学校)
- 4 ドッジボールで外野を決めるとき、先生が無理に話の中に介入するのではなく、こどもたちで話し合う姿に感心した。(小学校)
- 5 朝の会で点呼する際に、どのような順番でこどもたちの名前を呼んでいるのかを考えさせていた(今回は背の順で男の子は低い順、女の子は高い順)。このように考える機会があるから、みんなが集中して聞くことができていた。(小学校)
- 6 顔にボールが当たっても泣く子がいなかったが、何か秘訣はあるのか。(幼稚園)
→ゲームをする前に、しっかりとルールを言うようにしている。顔にボールが当たって泣いていたらゲームにならず、止まってしまうから泣かない、と教えることでボールにあたって仕方がない、とこどもたちも理解している。(幼稚園)
- 7 ボールの取り合いになったりしないのか。(保育園)
→ボールの取り合いでだんごになっているとゲームが進まないから、早く投げたほうが投げるチャンスが増えるよ、と教えている。(幼稚園)
- 8 小学校は教科という枠があるが、その中で、個々人が興味のあることなどを学び取っていく場所である。(小学校)
- 9 カリキュラムの関係でこどもたちの声全てに答えてあげられないときもあるが、家庭ではできないような体験を園でさせてあげられるようにしている。(幼稚園)
- 10 こども一人ひとり得意不得意があるため、強制して物事をやらせるのではなく、自分でやりたいことを選択できるようにしている。(幼稚園)
- 11 あそびの中で、意欲のある子には中心となって進めてもらい、意欲の低い子、苦手な子には時間をかけて少しずつ、レベルをさげたりしながら「これでいいんだ」「できそう」と思ってくれるようなことをやらせてあげる。(幼稚園)
- 12 こども一人ひとり時間によっていつやる気が出るのかが変わってくるので、自分のやりたいときにやらせてあげるようにしている。また、小学校はこどもの声が届きにくい印象があり、それが原因で意見を言わなくなる、つまらないと感じてしまうのではないか。(保育園)
- 13 小学校は決められた枠の中から、テーマを絞り、その中から自分の興味のあるものを選択して焦点化していく。これは幼稚園・保育園で自由に活動してきた経験が活かされ、

つながっている。(小学校)

- 14 小学校にあがるとひとり一つの机があり、自己管理をするようになる。また1年生から6年生までみんなが行事に参加し、チャイムで管理されるようになる。環境、生活面で幼稚園・保育園と比べるとガラッと変化するため、こどもたちにとっては負荷になる。しかし、幼稚園・保育園で行った経験が小学校生活のなかで活かされる。(小学校)
- 15 スムーズに就学するために、遊びを通して勉強や学校生活につなげていく。(小学校)
- 16 カリキュラムのなかに数字やひらがなに触れる、覚えることは含まれているが、単に暗記するのではなく、自分で考え、遊びの中でデザインし、小学校で必要になってくることを、遊びを通じて覚えられるようにしている。(幼稚園)
- 17 カリキュラムのなかに数字やひらがなを覚えることは含まれていない。こどもたちにとってあそびがご褒美であるため、あそびが中心となっている。あそびの中で、「○○を覚えると○○ができるようになるよ」と教えることで、こどもたちが就学に対して前向きな気持ちになれるようにしている。(幼稚園)
- 18 あそびの中で話し合い、自分の意見が言えるようにしている。(幼稚園)
- 19 あそびの経験を通じて小学校に上がった際に、新たな発見や、あそびが様々なことに繋がっていることに気が付けるようにしている。物事の種が蒔かれているのが保育園・幼稚園であり、それが繋がっていくのが小学校であるため、あえて就学前に勉強を教えたりはしない。(保育園)
- 20 あそびを通じて文字を知ることが楽しい、と思える経験が大切である。また、言語化する習慣があると、自分から進んでできるようになっていくため、自分の言葉を伝えることも大切である。(小学校)
- 21 あそびを通じて視野を広げる経験をさせてあげることで、学校嫌いにさせない、こどもたちの自信に繋がられる。(小学校)

4班 (座長：狐塚氏)

- 1 ドッジボールで負けてしまっても、悔しがる子、拍手する子がいて、こどもらしさの中に大人っぽさを感じた。待機しているクラスがビハインドのチームを自然と応援していたのが印象に残った。(幼稚園)
- 2 こどもたちの活動を見て、それぞれの活動をたくさん楽しんできたのだな、と思った。ボールを取り合うよりも譲ってすぐ投げる、友達同士のやり取りがしっかりとできていた。(幼稚園)
- 3 こどもも大人(先生)も全力で楽しんでいる姿を見せていただいた。こども達同士のやり取り(譲り合い、失敗を責めるより励まして応援する)が印象的だった。応援しているクラスの待ち方(転がってきたボールに触らない)も、こども達が決めごとをしっかりと理解していた。(幼稚園)
- 4 朝の会で、小学校で楽しみなことは?と質問したりして、考える機会を作っていた。ボールの譲り合いなど、友達の中で解決することをたくさん経験してきたのだろうな、と思った。負けてしまっても他のクラスを応援している姿が印象に残った。(保育園)
- 5 自園は年長クラスの人数が少なく、ドッジボールなど比較的大人数で行う遊びに触れる機会が中々作れないが、本日の活動の様子を自園のこども達に話したら非常に興味を示していた。ルールのある集団遊びは情緒面やルールを守る社会性の成長にとっても良いと思うので、工夫して保育に取り入れていきたい。(保育園)
- 6 自園は1クラスずつなので、園児たちに話したところ、クラス対抗のドッジボール大会をやってみたい、と非常に興味を示していた。年中・年長合同でチーム分けをして実施してみたい。3クラスそれぞれ、また年長組全体の一体感が素晴らしかった。(保育園)
- 7 こども達に任せていて、自分たちでドッジボールのルールをつくる様子が印象的だった。ボールを取り合うより譲り合う方がスムーズなど、見えないところで考える力を育てる取組みだと思う。雰囲気の高め方、先生方の声のかけ方も良かった。
- 8 朝の会の様子や掲示物は小学校と似ているので、就学しても不安感なく過ごせると思う。水筒の紐を絡まないように結んでおく、ボールを譲り合うなど、自分たちで考える力が育っていると感じた。小学校でも、ティーチング(教え込む)からコーチング(答えを引き出す)への移行を大切にする流れなので、方向性がマッチしている。(小学校)
- 9 自信につながる取組みとして、どんなことをしているか。(保育園)
→朝の会や給食時の当番や前に出てあいさつの機会を作っている。(幼稚園)
低年齢児のクラスの手伝いなど、生活力を高める取組みをしている。(保育園)
朝の会、帰りの会、学級会の司会を輪番で行っている。低学年のうちにできるよう、少なくとも年1回は前に立つように機会を作っている。学級会では、その月の学級活動のお楽しみレクの内容を、全てこども達で考えている。(小学校)
- 10 小学校への就学に向けて気になることは。(保育園)
→クラスの半分位は家庭の弁当持参のため、給食がしっかりと食べられるかやや不安がある。(幼稚園)

食べ物の好き嫌いに関して、嫌いだから食べさせなくても良いという保護者が増えたように感じる。主体性・多様性とわがままは紙一重で、非常に難しい。(保育園)

好き嫌いに関しては、食べると良いことを言って、先々困らないようにできるだけ早い段階で食べられるよう、周りのお友達と一緒に盛り上げるイベント的なこと(牛乳乾杯など)や特別な付箋(野菜の形など)を連絡帳に貼るなどの工夫をしている。無理なく褒める、「良いこと」を言うようにしている。(小学校)

→落ち着きがなく座ってられない子にどのように対応しているか。(保育園)

座ってられないと言うより、姿勢が保てない子が多い。保育園と家庭で共通認識を持って対応していかなければと思っている。(保育園)

最初から45分間座るのは無理なので、15分/20分など、初めのうちは時間を区切って、徐々に伸ばしていくようにしている。落ち着くためのスキルが育ってくれば、離席しても戻れるソーシャルスキルが身についてくる。就学当初に赤ちゃん扱いしすぎて、成長を戻してしまっている傾向があるので、その点は留意している。小学校就学までに遊びの中で、自分の意見を言えること、話し合いができること、考える力・生活する力(洋服のたたみ方や蛇口をひねる等)、身体の使い方(片足跳び等、遊びに取り入れて苦手にならないようにできれば)が身につくと良い。勉強は一から教えるので心配ない。小学校では遊びの時間が少なくなるので、就学までは保育者も皆で楽しみながら全力で遊んでほしい。(小学校)

令和7年度幼保小三者連絡会 研究協議記録

開催日 令和8年2月13日(金)

会場 高坂ひまわり保育園

研究協議において各班から出た主な意見・感想

1班(座長:峯氏)

- 1 制作物について、こどもが興味を持って楽しく、一人ひとり達成感を味わってほしいと思ひ、紙コップ制作をした。(保育園)
- 2 当番活動を通して、自分の名前等を自信を持って伝えられるようになってほしい。(保育園)
- 3 大変だったことはハサミの使い方を教えること。(保育園)
- 4 完成形を求めてはいけなひ。年齢によってできなひこともある。(保育園)
- 5 こどもに対し継続的な保育で楽しさを知ってもらひ、意欲が育っていく。(保育園)
- 6 知識、技能を先取りするのではなく、こども自身で獲得していくのが大切。(保育園)
- 7 こども自身が遊びながら学習していくことが大事。(幼稚園)
- 8 こどもたちに考えさせる、否定してはいけなひ。受け止めて繰り返しながら成長させる。(幼稚園)
- 9 一人ひとり違った成長がある。主体的に育つように保育者が聞かせようとするのではなく、こどもたちとの対話が大事で、対話の中で語彙が増えていく。(幼稚園)
- 10 保育をする者として、第三者の目線も大事。(幼稚園)
- 11 こどもにやらせて、意欲を育てることが大事。それが心情・感情を育てる。(幼稚園)
- 12 こどもの様子から保育を考える。作らせるのではなく、主体的にやってみる。(幼稚園)
- 13 保育者からこどもに答えを教えがち。早くこどもに教えてしまっている。自分で気づくことが学び発見になる。(幼稚園)
- 14 保育園、幼稚園と連携していくことが大切。(小学校)

2班 (座長：巢立氏)

- 1 5歳児の保育を見学し、こどもが自分で選んで自分で主張をすることができていた。また、自分たちで話し合って物事を決めていた。自分の気持ちに折り合いがつけられていると感じた。(保育園)
- 2 都道府県や九九の歌を取り入れており、小学校につながる内容だと感じた。(保育園)
- 3 自分の気持ちを譲ることができないときもあるが、相手の気持ちを考えよう、とこどもに伝えている。(保育園)
- 4 運動会で万国旗に興味を持っていたことから、都道府県の歌やかるたを取り入れた。(保育園)
- 5 5歳児を担当しているが、こどもがどうしたいかを自分の言葉で言えるようにしている。周りの子のために発言できたりもする。(保育園)
- 6 ずっと座っている、落ち着く、静かにすることや、長い時間興味を持つことができない子も増えてきているように思う。(保育園)
- 7 日中の活動で悔しいと感じたこどもは、自由時間に再挑戦しようとする。そこで楽しさを見つけている。(保育園)
- 8 みんなでルールを話し合う機会を設けている。(保育園)
- 9 こどもたちの話したい気持ちは尊重したいので、一人ずつ話を聞いてみたり、話を聞く時間をたくさん設けたりしている。先生の話聞く分、たくさんこどもが話す時間を与えている。(保育園)
- 10 こどもたち自身で考えているところがすごいと思った。自分で走る順番のビブスを選んでいて、数字の学びにもなっていると感じた。考える力が育てられていると思った。九九や都道府県の歌については、歌で楽しみながら身に着けられると感じた。(保育園)
- 11 こどもの声量に合わせて大人が大きな声にしてしまうとよくないと感じていて、今は静かにする時間、と察する気持ちを持つようにしたほうが良い。(保育園)
- 12 幼稚園に近い保育をされていると感じた。座ってられる、自分の番を待てる、〇〇ちゃんが早かった、などと周りが見られていた。折り合いがつけられていると感じた。(保育園)
- 13 先生が話す雰囲気を覚えてもらうようにしている。当番さんが前に立つと静かにする等。人に注目させるようにしている。(幼稚園)
- 14 静かにするよと言ってだんだんと静かになるのを待ったり、静かにするときのサインを決めたりしている。(小学校)
- 15 幼稚園でもことわざに触れる機会がある。また、朝の会で都道府県の歌を取り入れている。歌やリズムで触れるのはこどもにとって楽しく興味を持てるきっかけとなっている。(幼稚園)
- 16 1～3月で次の学年に向けた学びを取り入れている。1歳児であれば壁に沿って座る、椅子に沿って座るなどを行う。(保育園)
- 17 発語のないこどもについて、今は周りの子が気付いて助けてくれることもあり、他の子とも遊べるようになったが、小学校にあがったら難しいのではないかと感じている。(保育園)
- 18 こどもが気持ちを伝えられる状況をつくってあげている。(保育園)

- 19 小学校に向けて、自分で自分のことを伝えられるように、嫌だったことは友達に伝えられるようにと話している。(保育園)
- 20 以前の研修会で進級してくるときに文字は書けなくても大丈夫だから、自分でどうしたいのかが言えるようにしてもらえればと話があった。そのため、誰にでもわかるように、言葉を最後まで話すことができるように、言葉を大切に保育をしている。(幼稚園)

3班 (座長：竹内氏)

- 1 幼稚園の特色を取り入れて、ことわざや九九などを歌の中で覚えていることに感心した。
(保育園)
- 2 教室の中にこどもたち個人の荷物入れがあり、水筒をかけておく場所があるなど様々な場所にユニバーサルデザインが取り入れられている。また、数字や文字などが園全体に掲示され、見える化されていることから、はやいうちから数字や文字の学習が自然とできていることに驚いた。(小学校)
- 3 日ごろからクラスで音楽を流すことやアルファベットを飾るなど、こどもたちの興味を見つけてあげるきっかけがクラス全体にちりばめられている。(保育園)
- 4 都道府県のかるとや九九など、こどもたちが楽しそうに遊ぶ姿に驚いた。こどもたちの意欲や吸収力を見ることができた。(小学校)
- 5 九九を覚えるのはカリキュラムのなかにあるのか。(保育園)
→ない。卒園児が来る機会があり、小学校で九九を勉強していることを聞いてこどもたちが興味を持ったから取り入れた。(保育園)
- 6 ことわざや数字を覚える時間はあるのか。(幼稚園)
→ワークをする時間はあるが、強制はしていない。まずは線を描くことから始めて、こどもたちが興味を持ったら進めていくようにしている。(保育園)
- 7 スムーズに接続するために「つなぐ」ことが大切である。つなぐためにこどもの情報だけでなく、どのような園で、どのような生活をしているのか知れたらよい。また、こどもとこども、先生と先生といった繋がりも持てたらよい。(小学校)
- 8 幼稚園と小学校とのつながりがある年とない年があるため、継続して繋がることができていない。(幼稚園)
- 9 卒園した子との情報共有やこれから就学するこどもの情報を共有する機会がほしい。(保育園)
- 10 学年が上がるにつれて集団で行動しなくてはいけない、という気持ちが増えていくが、保育園内ではこどもたち一人ひとりも大切にしていきたい。しかし、学習面や生活面で個々の差生まれてしまうのは問題ないのか。(保育園)
→学校ではできないことを前提で授業を行うため問題はない。幼稚園・保育園のうちに色々なものに触れさせてあげてほしい。(小学校)
- 11 登校の際、歩くのが嫌で学校に来なくなってしまう子もいる。そのため、保育園や幼稚園で歩く習慣があるとよい。(小学校)
- 12 先生と保護者をつなぐ際に気を付けていることはあるか。(小学校)
→口頭で伝えることは伝え、直接保護者の方が迎えに来られないとき(祖父母の送迎等)はアプリを使用して伝えるようにしている。また、保護者の方を不安にさせないために、些細なことでも伝えるようにしている。(保育園)

- 13 先生にどのようにこどもの情報を伝えればよいのか。要録以外の手段で配慮を要する子の情報を伝えたい。また、幼保小以外で先生が学校、園を見に行く機会がない。そのような機会があれば配慮を要する子の情報も伝えることができるのではないか。(保育園)

幼保小三者連絡会 アンケート結果

開催日 令和8年2月10日(火)

会場校 松山南幼稚園

参加者 公開保育 32人

研究協議 32人

アンケート回収 29枚

1. 所属

	幼稚園	保育園	小学校	その他	計
人	11	8	8	2	29
%	37.9	27.6	27.6	6.9	100.0

2. 参加回数

	初めて	2回目	3回目	4回目以上	計
人	7	13	4	5	29
%	24.1	44.8	13.8	17.3	100.0

3. 参加してみたの感想

	大変良かった	まあまあ良かった	ふつう	やや物足りない	物足りない	未記入	計
人	22	4	3	0	0	0	29
%	75.9	13.8	10.3	0	0	0	100.0

4. 良かった点、物足りない点

- 1 松山南幼稚園の公開保育を参観させていただき、こども同士で話し合いをしたり、本気で取り組んだりしている様子を見て、とても勉強になりました。意見交換もできて良かったです。(幼稚園)
- 2 グループ協議のテーマがやや曖昧で、もう少し具体的なテーマを設定していただいた方が話しやすく感じた。(幼稚園)
- 3 小学校の先生のご意見を聞くことができ、とても良い機会になりました。(幼稚園)
- 4 幼・保・小の各機関からの見方、意見が伺えました。(幼稚園)
- 5 普段あまり見させていただく機会がなかった他の園の保育を見られたこと、小学校の先生のお話を聞くことができ、とても勉強になりました。ドッジボール大会を見させていただき、こ

- ども達や先生方が全力で楽しんでいる姿が印象的でした。学ばせていただいたことを今後の保育に活かし、こども達の素敵な未来につながるようにしていきたいです。(幼稚園)
- 6 公開保育の中で今現在の年長児の姿を見たところから、班別でじっくりとお話ができただけで、就学に向けて小学校の話の聞けたり、自分の保育について振り返ることができました。(幼稚園)
- 7 普段中々小学校の先生とお話することがないので、このような機会が貴重だと思いました。(幼稚園)
- 8 現在の小学校の様子や、小学校の先生が困っていることを直接聞くことができて良かった。(幼稚園)
- 9 小学1年生を担当している先生と話せたことで、自分の保育を見直すことができて良かった。就学に向けて、「スムーズ」とは何かということを通して話し合えて良い時間だった。(幼稚園)
- 10 小学校との連携や園での活動、身に付けておくと良いことを知ることができました。自分の保育や声掛けをあらためて見直し、こどもの意見をたくさん聞きながら楽しく過ごせるよう援助したいと思います。(幼稚園)
- 11 こども達の熱中している姿が見られ、卒園間近なこの時期に小学校への期待や不安を抱えている子も多いと思うが、クラスみんなで協力して頑張る経験は絆が深まって良いと思った。(幼稚園)
- 12 小学校でのこども達の姿を、小学校の先生方のお話を聞くことで、どのような状態で小学校に進むのが好ましいか、具体的に知ることができました。よく話を聞ける姿や、自分の言葉で気持ちを伝えられるようにすることが大切であると感じました。(保育園)
- 13 様々な園の話の聞くことができて学ばせていただいたり、小学校の先生方にもどういったことが今のこども達に必要なのかなどを聞くことができて良かったです。今後の保育にも役立てていきたいと思います。(保育園)
- 14 松山南幼稚園の保育とこども達の素晴らしい点をたくさん見られたこと、他園の先生方と情報を共有することができて良かったです。とても勉強になりました。(保育園)
- 15 小学校の先生と意見交換がしっかりとできた。また参加して、新しい意見などを取り入れていきたいと思いました。(保育園)
- 16 小学校の先生に色々な点をたくさん聞くことができました。小学校までにできるようになったら良いこと、保育園で取り組んでいるがどうしたらいいのかということを知ることができたので、今後の保育の参考にさせていただけたらと思いました。今回いただいたお話は園で共有したいと思います。ありがとうございました。(保育園)
- 17 年長児を担当しているということもあり、小学校で必要なことを知りたかったので、学校の先生の思いや、やっておいた方が良いことを知ることができました。今後の保育に活かしていきたい。(保育園)
- 18 自分の園との違いや小学校との違いについて知ることができました。トラブルが少なかったことには理由があり、初めはトラブルがあったが、みんなで協力していく中で仲間意識が芽生えたということがあったので、仲間意識が大切だと感じました。また色々な所の意見を聞いて、たくさん学べました。(保育園)
- 19 小学校の先生がたくさん来てくださったので、本当の意味で接続について考えられて、話し

合えたと思います。今後もっと小学校の先生に来ていただけると、この会が意味のあるものになるとと思います。(保育園)

- 20 こども達のが「自分達で決める」その場面を見ることができて良かったです。こども達は一年生ですが、小さい子扱いするのではなくて、ある程度こども達に任せてしまってよいのだな、そしてそれを見守るのが私達の仕事だと思いました。そのために話し合いの経験をさせることで、新たな課題に直面しても自分達の力で乗り越えていけるのではないかと思います。

(小学校)

- 21 こども達の生活の様子を知ることができた。背の順や話を聞く態度の育成など、小学校でも取り組んでいる内容を行っていて、連携にスムーズだと思いました。保育の場でもコーチングの姿勢でこども達と接していて、素敵だと思った。ドッジボールで一人ひとりの様子を良く参観することができた反面、少し距離があったり、座っての活動が少ししか見られなかったのもう少し見ることができたら良かったと思います。(小学校)

- 22 小学校に来る前のこども達の様子を見ることができて、とても良かったです。話を聞く姿、トラブルなく全力でドッジボールをする姿に感心しました。室内での普段の様子も見たいなと思いました。(小学校)

- 23 小学校入学までにどんな力を身に付けてくるのか、改めて確認できました。小学校ではそれらの力を十分に伸ばせるようにしていかなければならないと思います。(小学校)

- 24 入学前の年長児の様子が見られて、大変勉強になりました。(小学校)

- 25 こども達の活発な姿、朝の会など普段の様子を見られたことは、とても参考になりました。幼稚園・保育園でどのような方針で保育をされているのかを聞くことができて良かったです。共通点や活かせるような点もあったので持ち帰り共有したいです。自由遊びでの保育者との関わり方や、集団で静的な状況での保育者との関わり方も見せていただくとより良いと思います。(小学校)

- 26 保育参観で園児の様子が変わり、小学校との違いが理解できました。各園の活動なども知ることができました。スムーズな就学が図れるためには、幼・保・小の連携が大切だと感じました。良い機会を与えていただき感謝しています。今後の教育活動に活かしていきます。(小学校)

- 27 園の取組が理解でき、こどもの姿を通して理解しやすかった。(その他)

- 28 都合で午前中は参観できませんでしたが、協議の中でそれぞれの方から歩み寄る話し合いができていて、とても良かったです。今後は小学校教員も各校1名参加にしていきたいと感じております。(教育委員会)

5. 今後の三者連絡会の実施方法等についてご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

- 1 年中児、年少児の様子も参観したかった。(幼稚園)
- 2 小学校の先生方の具体的なお話が聞けて良かった。幼小の接続のために園で取り組んでいくことが明確になった。(幼稚園)
- 3 年4回ですが、良い時期とタイミングだと思います。(保育園)
- 4 幼稚園・保育園の先生方と話し合いができる機会はとても貴重でしたし、こども達への接し方が変わるなと思いました。ありがとうございました。(小学校)
- 5 幼稚園・保育園の皆さんから、児童の実態について聞かせていただいて大変学びになりました

た。お互いに理解を深め、親交を深めることができました。これからも三者で連携して子ども達の健全な発達につなげていきたい。(小学校)

- 6 公開保育と協議会の時間をもう少し詰めていただけると嬉しいです。(小学校)
- 7 公開保育と研究協議の間がなく出来ると良いなと思います。(園の時程等で難しいとは思いますが…)(小学校)
- 8 このように、現状だったり就学に向けてのお話をお伺いできたのはとても有意義でした。中々忙しい中、集まることは難しいかもしれませんが、今回のように実際に集まりお話しする機会を設けていただけるとありがたいです。ありがとうございました。(小学校)
- 9 事例を採り上げ、検討するのも良いかもしれない。(その他)
- 10 今後の架け橋期の導入可否について話し合っていきます。(教育委員会)

幼保小三者連絡会 アンケート結果

開催日 令和8年2月13日(金)

会場校 高坂ひまわり保育園

参加者 公開保育 34人

研究協議 26人

アンケート回収 23枚

1. 所属

	幼稚園	保育園	小学校	その他	計
人	2	15	3	3	23
%	8.7	65.3	13.0	13.0	100.0

2. 参加回数

	初めて	2回目	3回目	4回目以上	計
人	10	3	2	8	23
%	43.5	13.0	8.7	34.8	100.0

3. 参加してみたの感想

	大変良かった	まあまあ良かった	ふつう	やや物足りない	物足りない	未記入	計
人	17	6	0	0	0	0	23
%	73.9	26.1	0	0	0	0	100.0

4. 良かった点、物足りない点

- 1 全クラスの保育を参観させていただけたことが良かったです。幼稚園児と比べて身体の発達や生活する力が身に付いている様子がよく分かりました。(幼稚園)
- 2 小学校から園に対する要望や取り組んでほしいことが分かり学びになりました。幼・保間での違いもあり、小学校との連携を取る機会があれば良いのかなと改めて思いました。(幼稚園)
- 3 こどもの興味・関心が持てる視覚による環境設定から文字や数字などにつなげている方法がとても良かった。就学に向けて幼・保がそれぞれ行うべきことも分かり、良い機会となりました。(保育園)
- 4 自園以外の保育を見る機会がないため、様々な工夫を学ぶことができた。また、様々な年齢のこどもを担当されている先生方と意見を交換することができたので良かった。(保育園)

- 5 就学を見据えて3歳児から取り組んでいること、その積み重ねが5歳児で大きく成長していることが分かりやすかったです。保育者の関わり方や、活動の中でもこどもが中心となって進められるよう、バランス良く構成されていて、参考になりました。(保育園)
- 6 他園の様子を見られたことがまず勉強になりました。就学に向けてどんなことをしているのかを知ることができた。こども達の興味を引き出せるようにしていきたい。(保育園)
- 7 もう少し小学校の先生のお話を聞きたかった。(保育園)
- 8 小学校入学時の現状が聞けて良かったです。今のまま経験値を高めていけるようにしていきたいです。(保育園)
- 9 他の園の取組、クラスの様子を聞くことができて良かった。気になる子様子、どの園も困っていることなどを伝えることができて良かった。小学校に就学する前までにどんなこども達になってほしいのか、知りたかった。就学に向けて各園が取り組んでいることを知りたかった。(保育園)
- 10 他の園や小学校の先生方と現状の情報を共有できてとても良い機会になり、勉強になりました。小学校の就学に向けてやっていおいた方が良いことも知ることができて良かったです。(保育園)
- 11 自由遊びの様子も見学させていただいたら良かったと思います。(時間的に難しいところもありますよね…) (保育園)
- 12 色々な先生方の話が聞けてとても有意義な時間になりました。年齢問わず“自分の気持ちを言葉で伝える”ことの大切さを改めて再確認できました。(保育園)
- 13 他の園の様子を見る機会が中々ないので、見る事ができて良かったです。幼稚園・保育園・小学校・教育委員会等の他職種の方との話もできて良かったです。園に持ち帰り今後の連携につなげていきたいです。本日はありがとうございました。(保育園)
- 14 他の園の保育が見られ、自園の保育を見直すきっかけになった。クラスの掲示物や制作物も見られてとても良かった。(保育園)
- 15 全クラスの様子を見ることができて、学びになった。クラス内の環境構成まで見られて良かった。また、どんな遊びをしているのかも学びになった。(保育園)
- 16 他の園の様子が見られてとても良かった。(保育園)
- 17 ひさみ幼稚園の峯先生のアドバイスが良かった。もっとお話を聞きたかった。(保育園)
- 18 初めて保育園の教育活動を見ることができ、1年生の入学当初にどれくらいできるのかを知ることができてとても良かったです。もっと多くの小学校教員が参観できると良いと思いました。(小学校)
- 19 保育園や幼稚園等での取組について具体的に知ることができ、学びになりました。小学校で指導していることを幼稚園・保育園から指導していたり、聞く雰囲気づくりの工夫をしたりと、継続して取り組むことが大切だと学びました。また、こども同士で解決する力、自分の思いを伝える力はまだまだ小学校でも足りない点(折り合いをつける等も含め)があるので、引き続き指導を続けていきたいです。(小学校)
- 20 幼児教育と小学校教育の違いや特色などを理解し合うことができ、スムーズな就学につながるため、とても良い機会だと思いました。実際に保育の様子を見たり、研究協議を行うことでたくさんのことを学ぶことができました。幼・保・小の連携の大切さを改めて感じるとともに、

自分の実践に活かしていきたいです。(小学校)

- 21 実際に保育園の保育、環境を見られるのがとても良い学びになります。(その他)
- 22 様々な立場の方と話し合うことができ、今まで気づかなかった視点を得ることができました。(その他)
- 23 非常に良い話し合いだった。(その他)

5. 今後の三者連絡会の実施方法等についてご意見、ご要望がありましたらご記入ください。

- 1 時間調整が難しいため、公開保育のみの参加となることが多いため、協議会にも参加できて有意義なものになれると良いと思います。(幼稚園)
- 2 前期、後期でこどもの姿を見て、成長過程や現場でも保育目標を、小学校の先生に理解していただきたい。(保育園)
- 3 小学校との連携がとれるようなものがあると良い。(保育園)
- 4 公開保育、研究協議をありがとうございました。高坂ひまわり保育園を参観させていただき、勉強になりました。(保育園)
- 5 小学校との交流がもう少しあったら嬉しいです。(保育園)
- 6 0歳から5歳のつながりからの年長児の姿でもあると思うので、年長クラスだけでなく小さい年齢の保育など話も聞けると嬉しかったです。(保育園)
- 7 保育の様子を色々な先生に見ていただくのはとても良い機会であるが、参観に行かれない先生方も多いので、プライバシーの観点から難しいかもしれませんが、期限付き・パスワード付きで動画での保育や授業の様子を配信することができたら、多くの先生の参考になると思った。(保育園)
- 8 幼・保から日々の取組等を聞く、貴重な機会となりました。ありがとうございました。(小学校)
- 9 保育を参観したり、研究協議の場があり、多くの学びを得ることができました。この三者連絡会に参加することができ良かったです。本日は大変お世話になりました。ありがとうございました。(小学校)
- 10 協議の際、経験差・年齢差があるため、中々話しづらそうな先生がいた。付箋等のツールを活用するのはいかがでしょうか。(その他)

全体テーマ

「幼児教育と小学校教育の違いを理解し合い、
スムーズな就学が図れるために」

第1回幼児教育振興懇談会

期 日 令和7年4月25日（金） 午後3時から
議 題 令和7年度事業計画（案）及びテーマ（案）

第1回幼保小三者連絡会

令和7年7月4日（金） 唐子小学校
令和7年7月9日（水） 市の川小学校

幼児教育研修会

期 日 令和7年8月1日（金） 午後1時30分から
会 場 東松山総合会館 多目的ホール
講 師 東京家政大学 短期大学部 保育科
教授 佐藤康富（さとうやすとみ）氏
テーマ 「主体的・対話的で深い学びをもとに架け橋カリキュラムを考える」
対 象 幼児・児童の教育と保育に携わる方全般

第2回幼児教育振興懇談会

期 日 令和7年8月1日（金） 午後3時30分から
会 場 東松山市総合会館 多目的ホール
議 題 第1回幼保小三者連絡会の報告

第2回幼保小三者連絡会

令和8年2月10日（火） 松山南幼稚園
令和8年2月13日（金） 高坂ひまわり保育園

第3回幼児教育振興懇談会

期 日 令和8年3月13日（金） 午後1時30分から
議 題 東松山市幼児教育研修会の報告
第2回幼保小三者連絡会の報告
令和7年度事業報告
令和8年度事業計画（案）及びテーマ（案）

令和8年度事業計画（案）及びテーマ（案）

全体テーマ 「子どもが主体性を発揮できる保育・授業を考える
～子どもが主体的に楽しめる活動と工夫～」

（過去テーマ）

- R2 テーマ 他者との関係（協同性・道徳性・規範意識の芽生え・社会生活との関わり）
～コロナ禍における他者との関係～
- R3・4 テーマ コロナがもたらしたもの～保育・教育活動を通して～
- R5・6 テーマ 「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について
～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～」
- R7 テーマ 「幼児教育と小学校教育の違いを理解し合い、
スムーズな就学が図れるために」

第1回幼児教育振興懇談会

期 日 令和8年4月28日（火） 午後2時から
議 題 令和8年度事業計画（案）及びテーマ（案）

第1回幼保小三者連絡会

令和8年5月下旬～7月上旬 松山第一小学校
令和8年5月下旬～7月上旬 野本小学校

幼児教育研修会

期 日 令和8年8月 日（ ） 午後 時 分～ 時 分
会 場 未定
講 師 東京家政大学短期大学部 短期大学部 保育科
教授 佐藤康富氏
テーマ 「子どもが主体性を発揮できる保育・授業を考える
～子どもが主体的に楽しめる活動と工夫～」
対 象 幼児・児童の教育と保育に携わる方全般

第2回幼児教育振興懇談会

期 日 令和8年8月 日（ ） 午後 時 分～ 時 分
議 題 第1回幼保小三者連絡会の報告

第2回幼保小三者連絡会

令和9年1月～2月 幼稚園
令和9年1月～2月 たかさか保育園

第3回幼児教育振興懇談会

期 日 令和9年3月 日（ ） 時 分～ 時 分
議 題 東松山市幼児教育研修会の報告
第2回幼保小三者連絡会の報告
令和8年度事業報告
令和9年度事業計画（案）及びテーマ（案）

「幼・保・小三者連絡会議」実施会場一覧（案）

幼稚園	松山	東松	松山南	ひさみ	高坂	東平	聖ルカ	新明
H7	○	○	○	○	○	○	○	
H10	○	○	○	○	○		○	○
H14		○				○	○	○
H17	○		○	○	○			
H20		○			○		○	○
H23冬	○		○	○		○		
H25冬		○			○		○	○
H27冬			○	○				
H28冬	○					○		
H29冬					○			○
H30冬		○					○	
R元冬			降雪予報 中止	○				
R2～4冬	新型コロナウイルス感染予防のため中止							
R5冬						○		
R6冬	○							
R7冬			○					
R8冬					※			※

※いずれかの園で調整中

保育園	まつやま	わかまつ	たかさか	からこ	いちのかわ	仲よし	第二仲よし	若草	桃の木	のもと	みどり	高坂ひまわり	あつふる幼稚園	ハルム松ノ木	ウエルネス	第二みどり	桑の木
H5	○	○	○	○	/			○	○	/	/	/	/	/	/	/	/
H8			○		/		○			/	/	/	/	/	/	/	/
H12	○			○	/	○			○	/	/	/	/	/	/	/	/
H16		○			○		○			/	/	/	/	/	/	/	/
H19	○		○	○							○	/	/	/	/	/	/
H22		○				○		○	○	/	/	/	/	/	/	/	/
H24冬					○		○			○	○	/	/	/	/	/	/
H26冬	○	○	○									○	/	/	/	/	/
H27冬				○		○				/	/	/	/	/	/	/	/
H28冬			○					○		/	/	/	/	/	/	/	/
H29冬					○					○		/	/	/	/	/	/
H30冬		○					○					/	/	/	/	/	/
R元冬											○		○		/	/	/
R2～4冬	新型コロナウイルス感染予防のため中止																
R5冬												降雪中止					
R6冬													○				
R7冬												○					
R8冬			○														

小学校	松一小	松二小	新明小	大岡小	唐子小	高坂小	野本小	市の川小	青鳥小	新宿小	桜山小
H6		○	○				○				○
H9						○				○	
H11	○			○	○			○	○		
H13		○	○				○				○
H15	○			○		○				○	
H18			○		○			○	○		
H21		○					○				○
H23春	○			○		○				○	
H24春			○		○			○	○		
H25春	○	○					○				○
H26春				○		○				○	
H27春			○		○			○	○		
H28春	○	○					○				○
H29春				○		○				○	
H30春			○		○			○	○		
R元春	○	○					○				○
R2～4春	新型コロナウイルス感染予防のため中止										
R5春				○						○	
R6春			○			○					
R7春					○			○			
R8春	○						○				